

# タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2016年7月

こんにちは。

鳥取県東南アジアビューローの辻です。

当拠点があるタイでは、2014年に起きたクーデターにより政権を握った軍部による暫定政権が続いていますが、憲法起草委員会によって策定された新憲法草案の是非が、8月7日の国民投票によって決まります。承認されれば、民政移管に向けた総選挙の実施に向けて動き出しますが、否決されれば、民政復帰はさらに遠のくことになるため、国民投票の行方が注目されています。

今回は、タイの西側で50年間続いた軍事政権からの民政移管が2011年に実現、国際社会への復帰を果たし、経済成長が有望視される国家へと変貌をとげたミャンマーについてご紹介します。

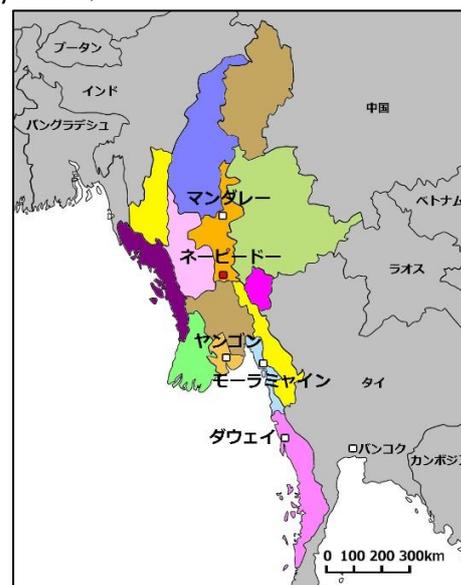


街中にそびえるパゴダ（仏塔）

## 【ミャンマー基本情報】

データ出所：外務省

1. 正式国名：ミャンマー連邦共和国（Republic of the Union of Myanmar）
2. 人口：5,141万人
3. 国土：68万平方キロメートル（日本の約1.8倍）
4. 首都：ネーピードー（2007年より）
5. 気候：国土が南北に長い地域によってかなり異なり、  
基本的に中部から南部にかけて熱帯、北部は温帯。
6. 民族：ビルマ族（約70%）、その他多くの少数民族
7. 宗教：仏教（90%）、キリスト教、回教等



## ◇◆◇ミャンマーの経済概況と日系企業の進出状況◆◆◇

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
実質GDP成長率 (%)	5.59	7.33	8.25	8.70	7.03
1人当たりGDP (USD) (IMF推定値)	1,197	1,182	1,180	1,279	1,292
失業率 (IMF推定値)	4	4	4	4	4

# タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

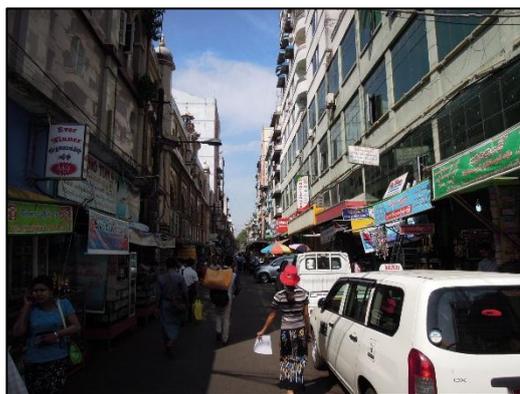
2016年7月

「アジア最後のフロンティア」と称されるミャンマーは2011年の民政化以降、欧米による経済制裁が解除されたこともあり、安価な労働力と、その発展性を見込んだ外資企業の参入が相次いでいます。

日系企業の進出も同様で2011年以前は、ミャンマーに進出する日系企業の数は極めて少なく、例えば、ヤンゴン日本人商工会議所の会員数を見ても、1996～2011年は、50～60社程度にとどまっていた。しかし、2012年に国際社会による対ミャンマー経済制裁が緩和されると、日系企業のミャンマー進出が相次ぎ、ヤンゴン日本人商工会の会員数は、2016年4月末時点で301社となり、2011年度から2016年度にかけての5年間で5倍に急増しました。

今後の「成長性」や「潜在力の高さ」に注目し、事業拡大意欲の強い企業を中心とした進出状況が特徴となっています。（早くから現地で展開する事でその国でのシェアを取る etc）

また、小規模投資の場合、外国投資法によらず会社法で法人を設立することができ、多額の資金は必要としないことから、まずは事務所を設け将来への準備を進める企業も多いのも特徴です。



活気あふれるダウンタウンの街並み

## <外資企業の進出状況>

### 製造業

2013年秋以降、三菱商事、丸紅、住友商事の3社、国際協力機構（JICA）、ミャンマー政府、ミャンマー主要企業などが共同出資する開発会社が、造成を進めてきたティラワ工業団地（ヤンゴンの南東約20キロメートルに立地。面積は約400ヘクタール）が、2015年9月に開業しました。これは発電所などの周辺インフラを完備したミャンマー初の大規模工業団地となります。一帯が経済特区（SEZ）に指定され、投資許可手続きなども簡便になるため今後、日系製造業はティラワでの進出が増加すると考えられます。



ティラワ工業団地

進出を決めた日系企業は、味の素、エースコック、ヤクルト、スズキ自動車、王子製紙、ワコール、東洋製罐が挙げられます。

上記のような今後拡大する内需に対応する事を目的とした大手以外にも、ぬいぐるみの製造・販売を手掛けるキュート販売など人件費の安さに注目した縫製業の進出も見受けられます。

2016年2月現在、入居予定企業数は60社（うち日本企業は32社）。工場建設着工数20社、操業開始済企業数6社

# タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2016年7月

## サービス業

資機材輸送、倉庫業、中小企業向け進出コンサルティングといった、日系製造業のミャンマー進出をサポートするような業種が目立ちます。

現段階ではインフラの未整備などの問題があるため、多くの製造業が進出できるような状況にはなっていないが、将来的な日系製造業の進出を見越した動きと思われます。2011年以降のミャンマー進出ブームにいち早く上記のような企業が反応した結果と考えています。

鳥取県東南アジアビューロー Tottori-Southeast Asia Trade and Tourism Bureau  
担当：辻 三朗 Saburo Tsuji  
Address:1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/C, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd.,  
Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110  
Tel : +66-(0)-2-260-1057  
Mobile : +66-(0)-86-358-7298  
Mail : [tottori@aapth.com](mailto:tottori@aapth.com)

当拠点の運営法人（鳥取県より業務委託）

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インド・メキシコにて主に日系中堅・中小企業様の海外進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

# タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2016年7月

## ワンページタイ経済

項目	単位	2013	2014	2015	2016
GDP 成長率	前年比ベ (%)	2.80	0.9	2.8	3.2 (1~3月)
人口*	千人	68,382	67,065	67,293 (12月)	67,367 (4月)
労働者の数*	千人	39,808	38,963	39,165	37,770 (5月)
失業率**	%	0.72	0.84	0.89	1.01 (5月)
最低賃金*	バンコク	300	300	300	300
	チョンブリー	300	300	300	300
	アユタヤー	300	300	300	300
	ラヨーン	300	300	300	300
賃金：全国製造業の平均	バーツ	11,066	12,074	12,305	12,320 (5月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	2.19	1.90	▲0.90	▲0.19 (5月)
中央銀行政策金利*	%	2.25	2.00	1.50	1.5 (6月)
普通貯金率**	%	0.68	0.59	0.56	0.47 (6月)
ローン金利(MLR) **	%	7.16	6.96	6.75	6.55 (6月)
SET 指数*	1975年：100	1,298.7	1,497.7	1,288.0	1,444.9 (6月)
バーツ/100円**	バーツ	31.53	30.77	28.31	31.19 (6月)
バーツ/米ドル**	バーツ	30.73	32.48	34.25	35.48 (6月)
円/米ドル**	円	97.6	105.84	121.0	111.8 (6月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	1,337,631	884,346	795,905	317,724 (5月)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,016	1,662	2,237	652 (5月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	1,027.3	729.4	809.4	160.6 (5月)

\*期末、\*\*平均